

月刊びゃっきープレス

2008

12 月号

毎月初回ライブ日発行

無料配布

↑あたりまえ

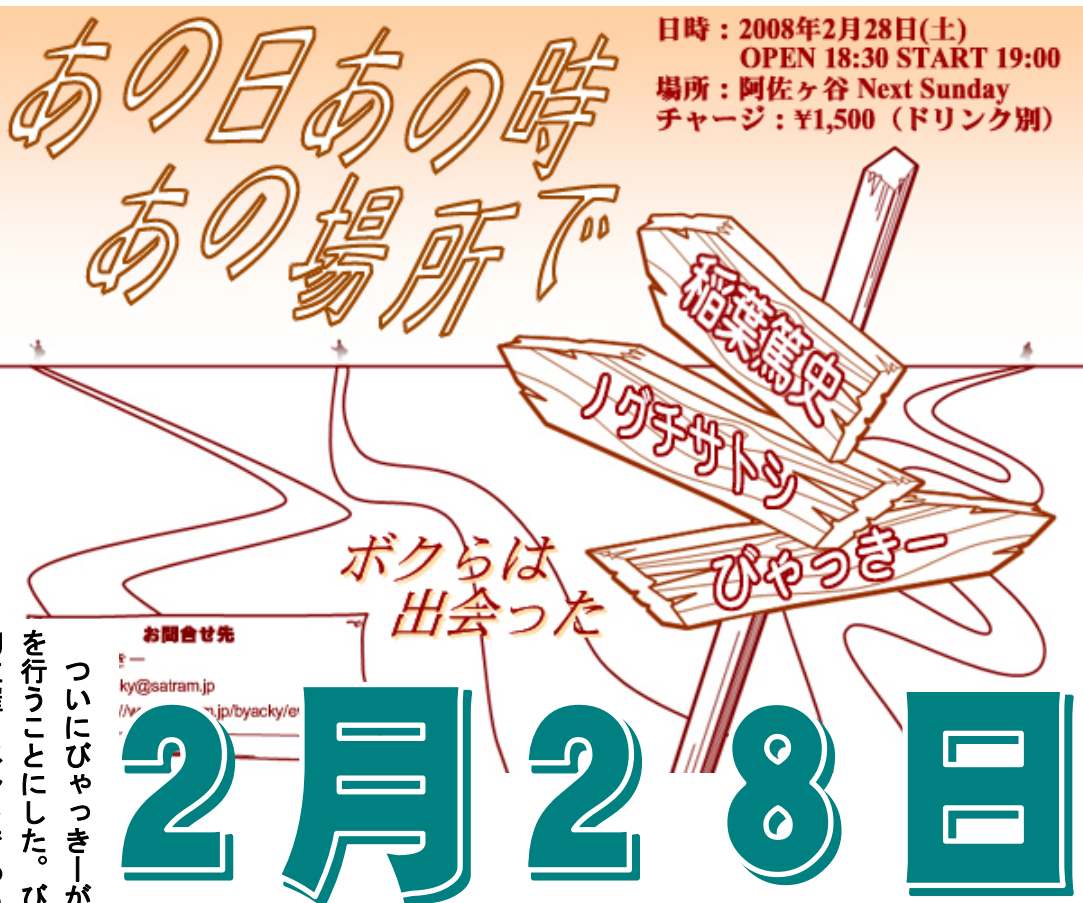
byacky press

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人



びゃっきー主催イベント
2009年2月28日(土)
阿佐ヶ谷 Next Sunday
チャージ
1,500円(ドリンク別)



ついにびゃっきーがイベントを行うことにした。びゃっきー初主催イベントである。共演者に稲葉篤史、ノグチサトシを迎え、2月28日(土)に阿佐ヶ谷ネクストサンデーにて開催する。何もかもが初めての経験であり、手探り状態で準備を進めている。これからイベントを企画する人のために、今回の取っ掛かりだけでもここに掲載することとした。

2月28日

びゃっきー主催イベント

イベントをやめる理由は何なんだろう。気の合う仲間と楽しい時間を作るため。ある程度腕のあるミュージシャンで固めて、ライブ自体の質を高めるため。共演者をたくさん集め、たくさんのお客さんを呼ぶため。いろいろと理由はあると思える。そこへ行くと、びゃっきーにはイベントを主催する理由がない。気の合う仲間は同じライブハウスに出演しているのだから、ブッキングでも一緒にブッキングが結構ある。ブッキングで一緒になる人も素敵な人が多い。新たな出会いもあり、そもそもびゃっきーレベルで質を高めるもクソもない。たくさんのお客さんを呼ぶためというのでも、共演者に頼ってお客さんを呼ぶというのでも、主催としては情けない。そんなこんなでイベントを主催することについて、びゃっきーはかなり消極的であった。しかし、先日別のイベントでノグチサトシさんと一緒にやったとき「また稲葉さんと一緒にライブやりたいね」というような話が出た。稲葉篤史、ノグチサトシ、びゃっきーの3人は昔同じライブハウスで共演したことがある。しかし現在はそれぞれ別のライブハウスで活動している。3人がブッキングで一緒になるのはまず不可

能である。3人が一緒にやるにはイベントしれない。びゃっきーは決意した。イベントを主催することを。しかし、初主催。共催すらしたことがない。イベントと云って、どのように企画して、どのように依頼して、どのように手配すればいいのか。そこで、過去に参加させてもらったイベントを思い返すと、割といろいろ呼ばれていることに驚いた。びゃっきーなど呼んでいただいていた本当にありがたい。いや、そんなことはどうでもよい。いろいろと参考にしようと思ったが、正直、共通点がほとんどない。イベントの内容も、依頼の方法もほとんどバラバラである。そこで、まずライブハウスを決めた。というか、選択の余地はない。いつも懇意にしているネクスツサンデーである。相談も気軽にできるし、といった意味で、手配に関しては他の人よりもアドバンテージがあるかもしれない。10月頃に、それとなくイベントの埋まり具合を聞いておく。2月末か3月でできそうかどうかであった。そして次に共演者への打診である。ノグチくんも社交辞令で言っているだけで、実際にはそんな気ないのかもしれない。稲葉くんに至ってはそんな話が出たことすら知らないわけである。声をかけるのもドキドキである。そもそも二人と一緒にライブをやりたいというのが全てである。どっかにか断られた時点で、この企画は終了である。幸い、二人とも快く引き受けてくれた。小躍りしながらネクスツサンデーに連絡し、日程を押さえてもらう。一番早い土曜日というので、2月28日の土曜日開催が決定した。他の出演者も呼ぶというやり方もあるのかとは思いますが、どうしても3人だけでやりたいなどと、主催者特権でわがままを言わせてもらった。集客等は厳しくなるが、二人には正直な気持ちを伝えて、お願いをした。そして、日時、場所から始まって、チケットのことや、出演順などの事務連絡や、その他、チラシやホームページなど、いろいろ準備もある。当日のスケジュールの決定や、ライブハウスの打ち合わせなど本当にやることは多い。大変ではあるが、とても楽しみにしている。ただシンプルに音楽を聴いていただければ、満足していただけたらと思う。少しでもたくさんの方に足を運んでいただきたい。生きて良かったと思ってもらえるぐらいの3者3様の歌をお聴かせすることを約束しよう。(びゃっきー)